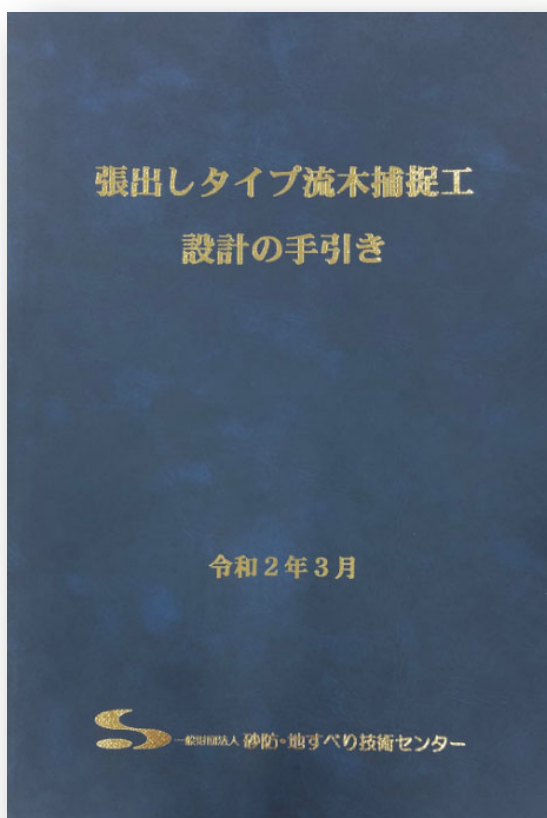


張出しタイプ流木捕捉工設計の手引き

既設の不透過型砂防堰堤の水通し上流に張出して流木を捕捉する附属施設

2020年3月発刊

全国各地の土砂災害において、流木が災害を拡大させる事例が多く見受けられます。流木対策をより一層推進する観点から、流木対策に関する議論を重ね、既設の不透過型砂防堰堤の水通し上流に張出して流木を捕捉する附属施設である「張出しタイプ流木捕捉工」に関する設計の手引きを作成し、4月より販売を開始しました。

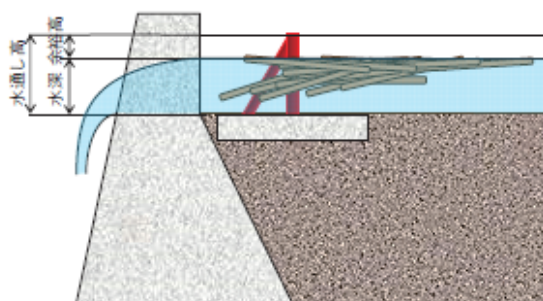


主な内容（目次より）

- 1章 総説
 - 1.1 手引きの目的
 - 1.2 適用範囲・基準
 - 1.3 流木捕捉工の目的
 - 1.4 流木捕捉工の機能
- 2章 張出しタイプの計画
 - 2.1 選定フロー
 - 2.2 土石流区間における計画捕捉流木量
 - 2.2.1 土砂整備率100%の場合
 - 2.2.2 土砂整備率100%未満の場合
 - 2.3 掃流区間における計画捕捉流木量
- 3章 張出しタイプの設計
 - 3.1 透過部の設定
 - 3.1.1 部材間隔
 - 3.1.2 本堤からの設置距離
 - 3.1.3 設置延長
 - 3.1.4 部材の高さ
 - 3.2 土石流区間における安定計算に用いる設計外力
 - 3.2.1 土石流の流体力の算定
 - 3.2.2 土石流時の荷重
 - 3.3 掃流区間における安定計算に用いる設計外力
 - 3.4 張出しタイプの部材の構造計算
 - 3.5 非越流部の安定計算



張出しタイプの施工事例（満砂型、未満砂型）



張出しタイプの設計